

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586013701	科目番号 / Subject code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会に向けて：医療・科学技術・政治（健康と医療の安全・安心）		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 孝洋		
授業担当教員名（科目責任者） / Professor in charge of the subject	西田 孝洋		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Professor(s)	西田 孝洋, 伊藤 公成, 木住野 達也, 江藤 宏美		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生（クラス等） / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koyo-n@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	歯学部本館7F薬剤学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火・金16:00~18:00（予定をLACSで確認すること）		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。		
授業到達目標 / Goal	医療とは、人間の健康の維持、回復、促進などを目的とした諸活動を意味する。ここでは、健康の維持と医療との関わりを正しく理解し、説明できる。		
授業方法（学習指導法） / Method	教科書を用いない講義科目なので、種々の資料や教材及び手段（液晶プロジェクターによる映像等）を使用する。また、医療に関わる多様な分野の教員とともに、多様な方法により、「健康と医療の安全・安心」を考える。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	遺伝、遺伝子組換え、家族、女性、子ども、薬の副作用		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	積極的授業参加態度(40%)、レポート(40%)、小テスト(20%)		
受講要件（履修条件） / Requirements	特に指定しない。		
備考（URL） / Remarks(URL)	<a href="http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/">http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	定期考査は実施しないので、毎回の出席は当然ですが、課題の提出などをくれぐれも忘れないようお願いします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション（西田）（10/1）		
第2回	遺伝子組換え技術（木住野）（10/8）		
第3回	遺伝子組換え技術と生物多様性（木住野）（10/15）		
第4回	遺伝子組換え技術と医療（木住野）（10/22）		
第5回	現代社会における子ども・女性・家族の危機 ライフイベントと起こりうる危機（江藤）（10/29）		
第6回	現代社会における子ども・女性・家族の危機 ドメスティックバイオレンスの発生と危機（江藤）（11/5）		
第7回	現代社会における子ども・女性・家族の危機 生命誕生と新しいメンバーを迎えた家族の危機（江藤）（11/12）		
第8回	現代社会における子ども・女性・家族の危機 さまざまな葛藤と意思決定支援（江藤）（11/19）		
第9回	遺伝子と遺伝子発現調節（伊藤）（11/26）		
第10回	遺伝子発現調節の重要性（伊藤）（12/3）		
第11回	「がん」とは何か（伊藤）（12/10）		
第12回	がん研究の実際（伊藤）（12/17）		
第13回	薬の功罪1（西田）（12/24）		
第14回	薬の功罪2（西田）（1/7）		

第15回	薬害（西田）（1/14）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586014101	科目番号 / Subject code	05860141
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会に向けて：医療・科学技術・政治（リスク社会と社会科学）		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤田 泰昌		
授業担当教員名（科目責任者） / Professor in charge of the subject	藤田 泰昌		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Professor(s)	藤田 泰昌		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujitattf@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館 6 0 6		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜16:30-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	地球環境問題や核兵器をはじめとする大量破壊兵器問題など、今日の世界が抱えるリスクに対して、国際社会は望ましいとされる方策をとってきたのだろうか。とってこなかったとすれば、なぜなのか。リスクの問題について社会科学の観点から考える機会を提供する。		
授業到達目標/Goal	リスクの問題を（政治をはじめとする）社会的なメカニズムから考えることができるようになることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）/Method	各テーマについて、担当教員による基本的な説明、グループ・ワークやグループ・ディスカッションの二部構成で進める。授業の終盤では、グループごとにプレゼンテーションを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	リスク、政治、核兵器、原発、テロ、地球環境問題		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業で指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席（グループ・ディスカッション等への貢献を含む）（60％）、期末レポート（40％）		
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースで見聞きするニュースを授業内容と結び付けて理解するよう心掛けてください		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	原発のリスク		
第3回	原発のリスク		
第4回	原発のリスク		
第5回	核兵器のリスク		
第6回	核兵器のリスク		
第7回	核兵器のリスク		
第8回	テロのリスク		
第9回	テロのリスク		
第10回	テロのリスク		
第11回	地球環境問題のリスク		
第12回	地球環境問題のリスク		
第13回	地球環境問題のリスク		
第14回	グループによるプレゼンテーション		
第15回	グループによるプレゼンテーション		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586014501	科目番号 / Subject code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会に向けて: 医療・科学技術・政治 (科学と技術の安全・安心)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人, 久保 隆, 田中 俊幸		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学・歯学・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	工学部流体エネルギー工学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。		
授業到達目標/Goal	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的な事項について、講義により学習をする。さらに、テーマをもとに、みんなで安全・安心について考えて意識を高める。 安全・安心に関する提案を発表する。		
授業内容/Class outline/Con	人間が安全で快適な生活を送るために、科学技術の発展が図られてきた。一方で、個人などでは処理できないさまざまなシステムが働いている。その中で、安全を維持し安心を図るために必要な基本的な考え方を習得するとともに、組織の中で個人が取り組む安全・安心の意識を育てる。 ・社会では様々な事故が発生し、貴い命が失われることも多い。そのような事故が起こらないように安全を確保することが重要である。そのためには何が重要かを事故の事例とその原因を考えながら学習する。 ・長崎の豪雨災害をはじめ、これまで発生した災害を教訓に日本各地で防災の都市づくりが進められている。国や自治体レベルで行われている施策を学び、さらに災害が起こったときの備えについて学習する。 ・身のまわりの電気機器や電磁波を中心に、目に見えないものが身体へ及ぼす影響について、安全をどうとらえ、安全安心へどのように取り組まれているかを紹介し、安全安心を考える。 ・身のまわりのさまざまな物質に関して、安全を確保するための規制や法律等さまざまな考え方をもち、安全への取り組みを紹介し、安全安心を考える。する。		
キーワード/Key word	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	安全・安心工学入門 (古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する		
学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について(林)		

第2回	第2回 災害とリスクマネジメントについて(林)
第3回	第3回 安全文化について(林)
第4回	第4回 事故の事例と原因紹介(林)
第5回	第5回 安全安心の意識調査(田中) 安全安心に関する提案のグループ分け
第6回	第6回 安全・安心に関する法律(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ1
第7回	第7回 電気に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ2
第8回	第8回 安全安心に関する提案の発表会(田中)
第9回	第9回 電磁波に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の総評
第10回	第10回 自然災害と安全・安心 その1(高橋)
第11回	第11回 自然災害と安全・安心 その2(高橋)
第12回	第12回 自然災害と安全・安心 その3(高橋)
第13回	第13回 化学物質の安全・安心 その1(久保)
第14回	第14回 化学物質の安全・安心 その2(久保)
第15回	第15回 化学物質の安全・安心 その3(久保)
第16回	